

特集 I

いなげや田植えツアー



▲いなげや田植えツアー参加者

5月16日(土)に、首都圏のスパ「いなげや」による田植えツアーがJAみちのく安達管内の圃場(大玉村)で開催されました。

当日は、抽選で選ばれた首都圏の消費者12組41名が参加しました。歓迎セレモニーでは、産地側を代表してJAみちのく安達鈴木利英代表理事組合長より、「この田植えツアーを通して産地のご理解いただき、今後も、いなげや様を通じて福島のお米をお買い求めいただきたい」と、挨拶がありました。

歓迎セレモニー後には、JA職員や女性部の方々が作ってくれたおにぎりや豚汁の他、消費者自らがついたお餅も振る舞われました。



▲餅つきの様子



▲田植え体験

朝から降り続いていた雨もお昼には上がり、青空のもと、子供も大人も素足で田んぼに入り田植え体験をしました。泥の中で慣れない作業に四苦八苦しながらも、親子で協力し、用意した田んぼ全てに稲を植えることができました。

田植え体験後は、アスパラガスの収穫体験や直売所での地元農産物の買い物など、春の福島を大いに満喫しました。

原発事故から4年が経過し、未だに風評被害は厳しい状況にありますが、JA全農福島は今後、生産者と消費者の懸け橋となり、福島県農畜産物の消費拡大に努めてまいります。



▲アスパラ収穫体験

特集 II

春本番、生産者・JAグループが一体となって春野菜の有利販売に取り組みます。春野菜園地視察研修会&販売対策会議開催!!

JA全農福島は5月12日(火)福島県内で、県内JA、福島県農林水産部、消費地からは青果物卸売市場を参集し、春野菜を代表する豆類(さやえんどう、スナップえんどう、グリーンピース)・アスパラガス・ブロッコリーの園地視察研修と販売対策会議を実施しました。

午前中は、それぞれの品目・方部に圃場視察研修会を開催しました。JA伊達みらいでは豆類(さやえんどう、スナップえんどう、グリーンピース)、JAしらかわではブロッコリー、JAあいづではアスパラガスの現地視察をしました。関係JAの指導員の方や視察圃場生産者から現在の状況などを説明いただき、参加者全員で圃場の様子と今後の出荷見通しについて確認しました。

午後からは農業総合センターにて販

売対策会議を開催し、各所属からそれぞれ協議事項の説明・意見交換を行いました。

県内JAからは、それぞれの主力品目の今後の出荷動向の説明をいただき、青果物卸売市場からは、主力春野菜の販売に関する取組、今後の販売の見通しや産地への要望を報告いただきました。JA全農福島からは春野菜の販売方針と、今年度取り組んでいく消費宣伝活動計画について報告いたしました。また、県内生産者が出演した春野菜消費拡大のTVCM(5月中旬から県内で放映予定)をご紹介し、量販店でのPRにも活用いただけるよう、DVDの配布を行いました。今年も関係者一丸となり、本番の夏秋野菜に向け弾みをつけるべく、春野菜の有利販売を実現する所存です。

午前の園地視察



▲ブロッコリー圃場視察



▲豆類圃場視察(さやえんどう、スナップえんどう、グリーンピース)



▲アスパラ圃場視察

午後の集合会議



▲県 我孫子主査説明



▲半澤部長挨拶

